



医療法人 聖十字会

西日本リハビリテーション学院

〔所在地〕〒862 熊本市長嶺町 3153 番地

〔電話〕0963 (80) 6311

〔交通〕熊本交通センター、九州産交バス 2 番ホーム 9 番のりばから、一本木行、戸島行、木山行（県会議事堂経由を除く）、空港行、道明入口行のいずれかに乗車、東八反田下車、徒歩 3 分。（なお、鹿児島本線 熊本駅より熊本交通センターまでは、市電、市営バス、九州産交バスなどが出ている。）

〔学科〕理学療法学科

〔募集人員〕30 名

〔修業年限〕3 年（昼間）

〔倍率〕5.7 倍（昭和 58 年度）

設立の目的と沿革

近年、交通事故や産業災害、脳卒中やリウマチなどの慢性疾患の増加、人口の高齢化などによる疾病構造の変化などで、心身に障害を持つ者が増加するにつれて、リハビリテーション医学の重要性は高まってきた。しかるに、その担い手であり、専門の医療技術者である理学療法士の数は極めて少なく、また、九州における養成校はわずかに一校という実状で、その養成は医療界において焦眉の急務となっていた。

このため、当医療法人聖十字会では、医療界のニーズに答え、リハビリテーション医学の発展に寄与することを目的として、高度の専門知識と技術を修得し、旺盛な奉仕精神を持った理学療法士を育成するために、昭和 56 年 4 月 1 日に、九州の中心に位置する熊本市の長嶺町に西日本リハビリテーション学院を開校し、現在、三年生は臨床実習施設（九州をはじめ、中国・近畿・中部・関東地方にかけて 51 か所ある）において実習中であり、来年（昭和 59 年）3 月には、第一期生として卒業する予定となっている。

環境と施設

当学院の所在地は、熊本市の中心部から東に約 6.5 km はなれた住宅地の一角にあり、“長嶺のときわのみどり”と学院歌に歌われているとおり、松・竹などの林に囲まれ、その林の中からは鶯などの鳥たちの鳴き声が聞こえるという、空気清澄な閑静な場所で、都会の喧騒にわずらわされることなく勉学ができる。

また施設面では、全国の養成校のなかでも高い水準と規模を有する機能回復訓練室（414 m²）をはじめとする実習教室（872 m²）、その他普通教室を含め校舎総面積は約 3,346 m² で、ゆったりとした造りとなっている。更に、校舎前方には約 3,500 m² の運動場があり、ソフトボール、バレーボールなどが楽しめる。なお、車で約 15 分のところに、熊本県民総合運動公園があり、クラブ活動などに大いに利用されている。

教育内容

基礎科目：心理学、倫理学、医学概論、人間発達、教育学、物理学、統計学、英語、保健体育

基礎医学：解剖学、病理学、生理学、運動学、医学用語

臨床医学：臨床心理学、精神医学、整形外科、臨床神経学、リハビリテーション概論、外科学、内科学、泌尿器科学、産科学、耳鼻咽喉科学、眼科学

理学療法：理学療法総論、運動療法総論、日常生活動作、疾患別運動療法、検査測定、物理療法、義肢装具、臨床倫理、臨床見学、臨床実習

当学院は、設立後 3 年目ということで、目新しい科目は取り入れてはいないが、臨床実習においては一年次より介護実習を実施し、情意領域の向上を目指している。

（理学療法士 栃岡 佳樹）